

## 令和5年度 第1回熊本市介護人材確保に関する懇談会

### 【会議次第】

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 懇談会
  - (1) 介護人材確保に関する現状ほか
  - (2) その他
- 4 閉 会

### 【意見要旨】

#### 人材確保について

- ・産官学民が本気になって取り組む必要がある。
- ・現場では人材不足の切迫感が非常に大きく、縣市全体で切実な課題として取り組む必要がある。
- ・求職者のハローワークの利用がなかなか進んでおらず、今後強化すべき。
- ・地域の学生等がその地域の介護施設に入りやすいような環境づくりを、行政と地域の法人がタッグを組んでやってもらえるとよいのでは。

#### 人材育成について

- ・専門学校や高校の福祉課程がどんどん少なくなっている。人材育成の入口のシェアを広げて対応していく必要がある。
- ・ヘルパー業界において、無資格者未経験者でも参入でき、そこで人材育成を行う体制があってもいいのではないかと少しずつ意識が変わってきている。

#### 処遇について

- ・給与が安いところと高いところの理由が確認できる指標があってもいい。
- ・勤務形態や給与体系の好事例を横展開することや、先進的に取り組んでいる事業所に補助金等をだすということも考えられる。
- ・他業界と同じような賃金体系にまず持っていくことが有効。報酬自体の見直しが絶対的に必要。
- ・福祉施設や病院などのアルバイト等に対して補助を出すようなことも考えられる。
- ・無資格者を入れると、加算関係が取れなくなり、介護職の給与が下がるという形になってしまう。そういうところを解決していかないといけない。

#### 定着促進について

- ・就職して間もない職員が、悩みがあっても人手不足で相談できる職員の方がいない。そのような職員の状況に早めに気づき、定着に結び付ける必要がある。

## 外国人介護人材について

- ・外国人介護人材も、特定技能で入ってきても、結局高収入の首都圏に流れてしまうケースがままある。
- ・日本での文化や生活習慣等、来日してからのハードルとなる部分について、行政として少しでもサポートできるような体制があれば有難い。
- ・監理団体があって、いろんな受入れのサポートをしてくれるということ、事業者はあまり知らないのではないか。例えばそういった方々とのマッチングの機会を設けることも考えられる。